

2017年11月号 (No.434)  
医療生協  
宮崎医療生活協同組合  
〒880-0824  
宮崎市大島町天神前1175-3  
発行 機関紙編集委員会

# おげんきですか

宮崎生協病院 ☎(0985)24-6877 FAX 29-4839  
http://www1.ocn.ne.jp/~mcoop/

和知川原生協クリニック ☎(0985)23-0050 FAX 23-0303  
このはな生協クリニック ☎(0985)58-1222 FAX 58-3110  
おつつか生協クリニック ☎(0985)52-6715 FAX 51-9004  
生協クリニックのべおか ☎(0982)26-7100 FAX 26-7101  
訪問看護ステーションれいんぼう ☎(0985)23-7728 FAX 24-0515  
訪問看護ステーションそれいゆ ☎(0982)31-1442 FAX 31-1452  
生協ホームヘルプサービスれいんぼう ☎(0985)62-1384 FAX 24-0515  
生協ホームヘルプサービスそれいゆ ☎(0985)24-8538 FAX 24-0515  
居宅介護支援事業所宮崎生協病院 ☎(0985)24-6545 FAX 29-4839  
生協ホームヘルプサービスれいんぼう ☎(0982)26-2536 FAX 31-1452  
宮崎医療生活協同組合 ☎(0985)23-7168 FAX 26-1944  
http://www1.ocn.ne.jp/~mcoop/

## 県北地区・都北地区で組合員のつどいを開催



介護保険制度の話をする木村宏輔さん

宮崎医療生活協同組合のつどい

『計画を成功させて月間で大きな成果を上げよう!』

9月21日(木)、県北・南方・日向支部から83名参加の県北地区組合員のつどいを、延岡市カルチャープラザ・ハーモニーホールで開催しました。第一部は「ザ・思いやり」の映画鑑賞を、第二部は「介護保険制度の現状とこれから」について学習しました。映画鑑賞では、思いやり予算の実態をみて「みんなの税金を勝手に使って腹が立つ。国民のことを思いやってほしい」と映画のような実態や国民の声を無視しての選挙は許されぬしなどの感想や意見がでました。介護問題学習会では、介護保険制度がつけられた背景やその後の改定で重ねられてきた今日の現状、介護保険制度の利用やサービスの提供などを木村宏輔さん(居宅介護支援事業所それいゆ)、安藤和美さん(訪問看護ステーションそれいゆ)から分かりやすく話がありました。また、介護保険のサービスが次々と削られていること、一定の所得以上の方々の保険料や利用料が2割・3割への引き上げについては二休この先介護保険はどうなるのだろうか」と不安の声もあがりました。

『支部結成20周年。記念ライブで楽しいつどい』

9月22日(金)、都北支部は都北支部は都市総合文化ホールで開催しました。8月かから支部長入院のアクシデントに気をもみながらの「つどい」でしたが、61人の参加を得られてはつとしました。今季は安野菜が担当する「菜の花館」でお茶をしながらと病院を出なくてもゆつくりして」と言い、14時すぎ「今日は成功だった」と思いつつそれぞれの家路へと別れました。当日は1名の組合員加入の報告も聞きました。(都北支部 岩切正道)

『秋の医療生協強化月間』に向けてキックオフ集会と意思一致

10月・11月は医療生協を大きくする「秋の医療生協強化月間」です。月間スタート前の9月19日、宮崎生協病院では組合員さんと職員合わせて約70名が一同に集まり、キックオフ集会を行いました。月間推進委員の黒木将英研修医が「平和活動や健康の取り組みなどを通して、協力し励ましあいながら月間を最後まで頑張りましょう」とあいさつ。組合員を代表し

『秋の医療生協強化月間』に向けてキックオフ集会と意思一致

10月・11月は医療生協を大きくする「秋の医療生協強化月間」です。月間スタート前の9月19日、宮崎生協病院では組合員さんと職員合わせて約70名が一同に集まり、キックオフ集会を行いました。月間推進委員の黒木将英研修医が「平和活動や健康の取り組みなどを通して、協力し励ましあいながら月間を最後まで頑張りましょう」とあいさつ。組合員を代表し

『体温計』

「団塊の世代」をどの様に、考えれば良いのだろうか。働き盛りの頃は、もてはやされ色々な職業に付き、ひたすらわき目も振らず働いてきた世代。今になると、若干?じやまもの扱いされ始めている。2025年から2040年をどの様に迎えるのか?元気な体の人、介護の必要な人のバランスがどうなるのか?これからの予防にかかっている行政は考える。本人達は、どう考え、どう思っているのか?好きで介護を受ける人はいない。しかし介護が必要になった時、すべての人が望ましい介護が受けられるのか?疑問がこる。受け皿、受け皿と言っているが、その受け皿が段々小さくなっていくのが、現状ではないだろうか?専門職の人数不足をどうするのか?人材はいるのだが、確保出来ない。専門職の処遇改善を1日も早く実施して、「団塊の世代」の人達が、安心して暮らせる明るい未来のある社会にする事が求められる。(N.Y.)

## クイズの答えはEメールでも受け付けております

「おげんきですか」へのご意見・感想をお寄せください。 Eメール:mcoop1030@ray.ocn.ne.jp

【必読方法】 官製はかき、答え、住所、氏名、電話番号を記入のうえ、下記の宛先までお送りください。また、Eメールでも受け付けております。「おげんきですか」を読んでのご意見・感想などもお書きください。正解者の中から抽選で5名の方に図書カードを差し上げます。切手は11月30日、当選者は1月号の紙面で発表します。

【送付先】 〒8800824 宮崎県大島町天神前一七五三 宮崎医療生活協同組合 「生協クイズ」係宛 ※名前の書き忘れがありますのでご注意ください。

【10月号の答え】 ①ウ・②エ・③ア・④イ、①③・②エ・アウ・④イ、①ア・②エ・③ウ・④イ

【9月号当選者】(正解数22通) 三輪 邦彦さん(日向市) 坂本 靖子さん(西都市) 矢野 靖子さん(宮崎市) 宮口美紀子さん(宮崎市) 中武リツ子さん(宮崎市)

①第2回大会(1988年) 飯坂温泉  
②第5回大会(1991年) 片山津温泉  
③第7回大会(1993年) 花巻温泉  
④第8回大会(1994年) 道後温泉  
⑤第9回大会(1995年) 水上温泉  
⑥第12回大会(1998年) 戸倉上山田温泉  
⑦第22回大会(2008年) 朱鷺メッセ

<訂正とお詫び>  
10月号のクイズは、問題および回答選択肢の中の答えが混乱していました。編集委員会からお詫び申し上げます。従って10月号の回答は、①ウ・②エ・③ア・④イ、①③・②エ・アウ・④イ、①ア・②エ・③ウ・④イを正解とします。

ア) 岩手県 イ) 新潟県 ウ) 福島県  
エ) 石川県 オ) 群馬県 カ) 長野県  
キ) 愛媛県

## 11月の診療案内

	宮崎生協病院					宮崎市大島町天神前1171 ☎0985(24)6877				
	午前		午後		夜間	午前		午後		夜間
月	受付 8:00~11:15 診療 8:30~12:30	受付 14:30~16:30 診療 15:00~17:30	受付 17:00~19:35 診療 17:30~20:00	受付 8:00~11:45 診療 8:30~12:30						
火	交替制	交替制	遠藤 高橋聡	高橋聡	高田	山岡	山岡	山岡	山岡	山岡
水	交替制	交替制	遠藤 永友	眞川 10:30~12:00						
木	遠藤	交替制	高田	古谷	小澤	交替制	休診	山元	交替制	交替制
金	遠藤	交替制	中島徹	高橋聡	高橋聡	交替制	葉山	葉山	葉山	葉山
土	交替制	交替制	1週:高田 2週:高橋聡 3週:植野 4週:永友	高橋聡	高橋聡	交替制	葉山	葉山	葉山	葉山

●土曜日夜間の内科・小児科外来は休診です。 ●受付時間変更のお知らせ 宮崎生協病院の一般内科の受付は11時45分から11時15分に変更となりました。但し、救急受け入れおよび他院からの紹介についてはこの限りではありません。また、内科予約・検査予約・外科・小児科の受付時間に変更はありません。地域の中で入院施設を持つ病院として、救急受け入れ及び紹介の受け入れを厚く、重症患者への対応の質を担保するためです。ご理解とご協力をお願いします。

### おつつか生協クリニック

宮崎市大塚町大迫南4401 ☎0985(52)6715

	午前	午後
診療時間	8:30~12:30 (受付11:30)まで	16:00~18:00まで
月	三宅	三宅
火	三宅	休診(往診)
水	三宅	三宅 17:00~19:00
木	三宅	休診(往診)
金	三宅	交替制
土	三宅	休診

第1土曜休診

### 和知川原生協クリニック

宮崎市和知川原2丁目25-1 ☎0985(23)0050

	午前	午後	夜間
診療時間	8:30~12:30 (受付12:00)まで		17:00~19:00まで
月	日高	休診(往診)	交替制
火	日高		
水	日高		日高
木	日高		
金	日高	休診(往診)	日高
土	日高		

●午後18時以降は往診等の為診察は行っておりません。夜間受付は18:45まで

### このはな生協クリニック

宮崎市大字熊野1613 ☎0985(58)1222

	午前	午後
診療時間	8:45~12:30 (受付12:00)まで	15:00~18:00まで
月	中村	中村
火	中村	休診(往診)
水	中村	中村
木	中村	中村
金	中村	中村
土	中村	休診

●通所介護 デイサービス 月曜日~土曜日 9:00~15:30

### 生協クリニックのべおか

延岡市浜砂1丁目5-17 ☎0982(26)7100

	午前	午後
診療時間	9:00~12:30 (受付12:00)まで	15:00~17:30まで
月	末岡	末岡
火	末岡	末岡
水	末岡	末岡
木	休診	交替制
金	末岡	末岡
土	休診	休診

●通所介護 デイサービス 月曜日~土曜日 9:30~16:00

### 在宅総合ステーション れいんぼう

宮崎市和知川原2丁目25-1 (れいんぼう会館内)

- ・ 在宅介護支援事業所 ☎0985(24)8538
- ・ 訪問看護ステーション ☎0985(23)7728

### 在宅総合ステーション それいゆ

延岡市浜砂1丁目5番6号

- ・ 在宅介護支援事業所 ☎0982(31)1453
- ・ 訪問看護ステーション ☎0982(31)1442
- ・ ホームヘルプサービス ☎0982(26)2536

### みんなの家 れいんぼう会館

宮崎市和知川原2丁目25-1

- グループホーム にじの樹 TEL 0985-35-6022
- デイサービス 和知川原 TEL 0985-32-3414

### ぎおんの家 おおつかの家

宮崎市大塚町西ノ後3435番地1 TEL 0985-55-0025

◎介護保険の申請や相談については上記の居宅介護支援事業所にお問い合わせください。 入居者を募集しています。入居希望の方は、各介護施設または介護事業部(0985)23-7168(介護部長 長友剛子)までご連絡ください。

生活習慣病・貧血予防の食事、について  
今年度第1回保健学校を開きました



4品の料理を作りました

小松支部は9月27日(水)、宮崎市食生活改善推進協議会のヘルスマイト4名を講師に、第1回保健学校を宮崎市小松台ハ

に手作りするなど楽しく実習しました。体内の酸素不足から起こる脳貧血と貧血、低血圧と貧血などの疑問点も詳しく説明していただき、貧血は急に症状が出るものではなく、日頃の偏った食生活習慣が時間をかけて症状を引き起こすこと。子どもも食育は大人の意識と行動が第一歩。また高齢になると食物の好き嫌いが激しくなり、自分の好みだけに偏らないバランスのよい食事を摂ることなどの話しがありました。調理実習の楽しみは何となくとも試食会。りんごコンポートのデザートに取り入るときは、夕食のメニューに取り入れる話題で盛り上がりました。(小松支部長 黒木愛子)

土呂久鉱山講演会でヒ素中毒の恐ろしさを学ぶ

長年にわたり土呂久鉱害に携わってこられた川原一之氏(元 朝日新聞記者)による講演会の内容について紹介する。土呂久鉱山は、江戸時代に開かれ、大正に入り亜硫酸を産出した。亜硫酸は、石見銀山ネズミ捕りでも知られる有毒物質である。土呂久は狭い谷間の集落の真中に鉱山があり、登り窯で亜硫酸を製造した。窯からのヒ素を含んだ煙や健康を害する物質を含んだ廃棄物の山もあった。1925年にヒ素中毒が原因と思われる牛の死亡が確認されたが、県は取り上げなかった。その後、家畜や人が顕著になり、一家全員が若死にすることもあり発生した。1960年の新聞には農作物や家畜の被害は精錬所の

煙が原因だとして調査の要望が出たが、住民の健康被害は問題にされなかった。人権意識が低かったのか、風評被害を恐れたことだったのか。1960年代後半には全国で公害訴訟を起され、1971年に環境庁が設立された。またこの年、子供たちの健康調査を行った小学校の先生が、土呂久に埋もれていた公害について発表された。しかしながら、直ぐには公害病とは認定されず、第4の公害病と認定されたのは1973年である。このころから、川原氏の支援者・記録者としての土呂久との関りが始まる。1975年に開始された裁判は、1990年に最高裁で和解が成立したが、家畜や人への症状が現れてから50年の月日を要した。現在、川原氏は、アジア砒素ネットワークでの活動や土呂久を環境学習の場所としての活動も行っている。最後に、土呂久公害を後世に伝えるための展示資料館が必要であるとの考えを述べられた。(まちづくり委員会担当理事 清水忠雄)

宮崎生協病院小児科 開設30周年を迎えました

宮崎生協病院小児科の歴史

1987年4月に開設して今年で30周年を迎えました。開設から2000年までは毎年小児科医が交代していましたが、2001年に皆さん良くご存じの上野満先生が赴任し、以来宮崎生協病院小児科の顔として支えてこられました。2005年度下期から2名体制となり、2009年度から3名体制、2013年度下期から4名体制となり現在に至っています。

小児科開設は1987年でしたが、実はそれ以前の1980年に乳児健診が始まり、1983年には喘息児サマーキャンプが開催されています。これらは地域の願いに応えるべく内科医師が実施したものでした。

現在の小児科の医療活動

一般外来はもちろんのこと、乳児健診、予防接種も当然行っています。そして意外と思われるかもしれませんが、当院では子どもの入院もできます。受診には紹介状が必要ですが、入院できるかどうかはまだまだ当院小児科に対する誤解があるようです。時には組合員さんからもそう言われることがあり、私たちの力不足、努力不足を痛感させられます。

4名の小児科医にはそれぞれ専門があり、上野・久保が循環器、愛甲が神経、山元がアレルギーです。一般診療を行いつつ専門分野でも頑張っています。院外の医療活動として、宮崎市夜間急病センターの当直や宮崎市1歳半・3歳半健診など地域医療の一端も担っています。



久保尚美医師



愛甲浩志医師



上野満医師



山元広己医師

これからの小児科の展望

宮崎生協病院の小児科医は「地域に根ざした、かかりやすい小児科」を目指して、そして上野先生が口癖のように言っている「科学的データに裏付けされたオソドックスな診療」を心がけて日々頑張っています。この頑張りのおかげで日々増えており、現在の小児科外来は患者さんにとっても、医師にとっても手狭となってきました。そこで昨年あたりから「小児科外来をもっと大きくしよう」という計画がちよとずつ進行中です。病院北側駐車場に新棟を建てる予定ですが、実現にはまだまだ長い道のりのようです。

現在小児科医を目指して県外で研修中の先生と、来年度から研修に入る先生がおり、将来彼らが宮崎生協病院で存分に活躍できるように新棟建設は何としても実現したいところです。

組合員さんへ

小児科では毎年「子育てすくすく教室」を開催しています。お母さんたち(時にはお父さんも)がすくすく教室に参加している間、子守が必要なのですが病院長スタッフだけでは人数が足りず毎回組合員さんたちに手伝っていただいています。いつもありがとうございます。そしてこれからもよろしく願っています。

小児科が組合員さんたちと関わることは、今のところ「子育てすくすく教室」くらいでしょうか。できればもっと交流ができるといいなあと思っています。班会や勉強会など声をかけていただければ嬉しいです。宮崎生協病院小児科の更なる発展を願って、小児科医師・スタッフ一同日々奮闘中です。これからも応援よろしくお願ひします。(宮崎生協病院小児科長 山元弘己)

コープみやざきと共催でサークル活動をはじめました



みんな健康体操中

宮崎医療生協の組合員さんとコープみやざきの組合員さんで、「ヘルス&ピース」サークル活動をはじめました。9月22日の第1回目は宮崎市中心公園でクラウンドゴルフを計画しましたが、当日は雨天のため急きょ宮崎医療生協の大会議室で健康体操を行いました。代表の横山けい子(宮崎医療生協理事)さんが「健康のために体を動かして健康づくりに取り組みましょう。平和やくらしを守るためにがんばりましょう」とあいさつしました。その後、18名の組合員さん、くまの字体操や指の体操、あいうべ体操などを行い、昼食は減塩弁当をいただきました。1体操やおしゃべりで楽しかった「弁当は少し塩分が足らなかつたので、家での料理はいかに塩分の摂りすぎであるかがわかった」などの感想をいただきました。また意見討論では「大義名分のない解散総選挙の意味は何なのか」「国民のための政治にしてほしい」などが出されました。サークル活動は2、3か月に1度の開催予定です。次回はクラウンドゴルフの計画です。

おげんき仲間 配布協力員紹介



「配るだけなら」と引き受けてから四、五年たちました。配れない時は組合員の相良さんをお願いしたこともありましたが、月一回の配布は私にとつて当たり前と語る小松支部の鶴田啓子さん。組合員さんと顔を合わせ「お疲れ様」と言われた時はとても嬉しそうです。たまには長話しをされることもあり、良い交流の機会にもなっているようです。体調に気を付けて、これからもできるだけ長く、おげんきですかの配布を続けてください。(小松支部運営委員 同)

お問い合わせ 組織部 0985・31・9065

おげんきですか文芸欄

短歌  
ようでけた核禁条約おめでどう  
署名の東でアベぶつ倒そ  
水永玲子(日向支部)

川柳  
「やせません」誰も責任とれませぬ



みんなの声

「おげんきですか」は新聞で読めないような真剣な話題から微笑ましく思える『めだかの学校』『文芸欄』もあるので読み応えがあります。(宮崎市Oさん女性) など多くの声を頂いています。

虹の声 宮崎生協病院虹の意見箱

10月度宮崎生協病院利用委員会

◎駐車場に屋根をつけて欲しい。ベビーカーで来た時にずぶ濡れになる。事務の人にベビーカーを見てくれと頼んだが断られた。

○駐車場に屋根を設置することは難しく、次期病院改修時に正面玄関前の屋根の部分を検討します。事務の対応については、指導を行いました。

11月11日は、「いい介護の日」  
介護・認知症 なんでも 無料 電話相談  
高齢化がすすむなか、お金の心配なく安心して介護サービスを受けたい、すべての高齢者・家族の願いです。しかし現状は介護職員の人手不足や、「負担が重くサービスを継続できない」(特養)に入れないなど悩み多岐にわたります。その悩みに答える「介護・認知症なんでも電話相談」を行います。介護の専門家、認知症の人と家族の会の相談員がお答えします。お気軽にお電話ください!  
2017年 11月11日(土) 10時~17時  
でんわ 0120-110458  
宮崎県社会福祉推進協議会  
〒880-0023 宮崎市和知1-25-1  
TEL・FAX 0985-38-5469  
公認福祉法人 認知症の人と家族の会 宮崎県支部  
〒880-0806 宮崎市広島1-14-17  
TEL・FAX 0985-22-3803

\*お詫び 10月21日、宮崎医療生協主催「医療生協健康ウォーキング」は当日雨天のため中止となりました。

2017年10月度 理事会の報告(10月14日開催)

<審議・決定事項>

- ①9月度の組合員活動の概要と各種委員会の取り組みについて報告がありました。9月18日までの組合員増やしは49名(目標91名)、出資金増資は59.6万円(目標228万円)と目標を下回りました。班づくりは1班(目標9班)、班会開催は80班(目標97班)でした。秋の医療生協強化月間のプレ月間の取り組み(9月19日~10月2日)は、組合員増やし181名(目標200名)でした。3地区で開催した組合員のついで、宮崎地区は原水爆禁止世界大会の報告や大腸がんの講演(128名)などが、県北地区は「サ・思いやり」映画上映、介護保険学習会(83名)などが、都北地区は支部結成20周年(61名)などの内容で開催しました。また宮崎生協病院をはじめ5つの院所で「秋の医療生協強化月間のキックオフ集会」に組合員さんと職員合わせて136名が参加しました。
- ②平和と社会保障を守る取り組みについて提案がありました。「辺野古基地移設問題」「オスプレイ緊急着陸」「柏崎刈羽原発、福島原発廃炉工程変更」「糖尿病疑い成人初の1万人の突破」「宮崎県熱中症搬送2011年以降最多」の報告がありました。また「原発事故について国、東電の責任を認める地裁判決」「高江での米軍ヘリ炎上」「介護ウェブ」11/11に開催予定の介護・認知症なんでも電話相談の紹介もありました。
- ③8月度(&累計)の経営概況について報告がありました。8月の法人の経常利益は973.2万円(予算差▲297.1万円)、累計では1,773.9万円(予算差▲1,390.9万円)の到達でした。
- ④東大宮地区・木花地区「お宝発見・発展・発信事業」の提案を行いました。今回は東大宮地区での応募を提案します。10月24日の地区理事部長合同会議での承認を得、その結果を受けて12月理事会で正式決定とします。
- ⑤業務監査として、グループホームにじの樹、訪問看護ステーションれいんぼう、居宅介護支援事業所れいんぼうの報告がありました。現金監査として、宮崎生協病院、和知川原生協クリニック、グループホームにじの樹、訪問看護ステーションれいんぼう、デイサービスと和知川原の監査報告がありました。
- ⑥障害者雇用の賃金(時給)改定について提案がありました。
- ⑦宮崎生協病院の病床機能変更について提案がありました。

<報告・承認事項>

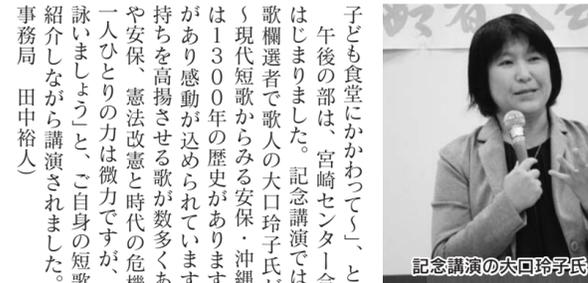
- ①9月度事業所活動について報告・承認しました。
- ②9月度医療安全管理委員会について報告・承認しました。
- ③9月度宮崎生協病院利用委員会について報告・承認しました。
- ④9月度県連学習教育委員会について報告・承認しました。
- ⑤9月度県連介護事業所責任者会議について報告・承認をしました。
- ⑥9月度経営協議会について報告・承認しました。
- ⑦第28期6回、7回常勤理事会について報告・承認しました。
- ⑧宮崎県医連第9期第4回理事会について報告・承認しました。
- ⑨宮崎県社保協第5回幹事会について報告・承認しました。
- ⑩人事について報告・承認しました。
- ⑪厚生労働省社会・援護局通知(消費生活協同組合の政治的中立の確保)について報告・承認しました。

今、宮崎医療生協は	2017年9月末現在
■新規加入者 173名(9/1~9/30)	■総組合員数 49,155名
■出資金 5億6,687万円	■平均出資金 11,532円
■班数 319班	■おげんきですか手配り配布数 20,475部

組合員の転居及び氏名変更、お亡くなりになられた場合は宮崎医療生協(電話0985-23-7168)までご連絡ください。

医療福祉生協カレンダー販売

全国の医療福祉生協では、まちづくりや健康づくり、居場所づくりなどに取り組んでいます。日本医療福祉生活協同組合連合会では、2018年のカレンダーは2ヶ月ごとに各テーマを分かりやすく紹介しています。1部200円です。購入ご希望の方は宮崎医療生協本部をはじめ、病院・クリニックの窓口まで申し出ください。



記念講演の次回玲子氏

10月17日(火)、宮崎市民プラザで「第16回宮崎県高齢者大会」が開催され、県内から120名が参加しました。午前の部は①「木花巡回バス」開始から10年の道のり、②「何歳からでも体力はつけられる」③「子どもも貧困とは何か」午後の部は、宮崎センター合唱団の歌でオープニングがはじまりました。記念講演では、宮崎日新聞宮日文芸短歌欄選者で歌人の大口玲子氏が「短歌で世界を見て見ると現代短歌からみる安部・沖縄・憲法」と題し、「短歌には1300年の歴史があります。短歌は小説とは違う魅力があり感動が込められています。72年前の戦中の短歌は気持ちを高揚させる歌が数多くあります。現在日本は原発や安保、憲法改憲と時代の危機を迎えようとしています。一人ひとりの力は微力ですが、その時の社会情勢を短歌で詠いましょう」と、自身の短歌をはじめ著名な歌人の歌を紹介しながら講演されました。(宮崎県高齢期運動連絡会事務局 田中裕人)

第16回宮崎県高齢者大会